

平成29年度 沖縄県における子どもの貧困対策に関する基金設置団体概要 (平成29年12月31日現在)

1 設置者	沖縄子どもの未来県民会議	株式会社沖縄タイムス社	株式会社琉球新報社・社会福祉法人沖縄県共同募金会
2 基金又は事業名	沖縄子どもの未来基金	沖縄こども未来プロジェクト	りゅうちゃん子どもの希望募金
3 基金設置又は事業開始日	平成28年6月17日	平成28年2月	平成28年1月25日
4 趣旨・目的	社会の一番の宝である子どもたちの将来がその生まれ育った環境によって左右されることなく、夢や希望を持って成長していける社会の実現を目指し、県民一体となって子どもの貧困を解消するための各種事業に取り組む。	沖縄の子どもの貧困問題の解決に取り組んでいる民間団体等の継続的支援。	沖縄県内では平均的な所得の半分以下で暮らす「貧困」世帯の子どもたちの状況が深刻さを増している。琉球新報社は、「子どもの貧困」問題の新聞報道にとどまらず、沖縄の子どもの育ちも学びを支援するため、沖縄県共同募金会と共同でこの募金に取り組む。
5 寄付総額(累計額)	86,628,079円	55,396,853円	18,986,836円
内訳	(1) 寄付 77,143,487円(個人39件、法人80件) (2) サポーター 3,889,000円(個人132件、法人18件) (3) その他 5,443,354円(354件)	(1) 法人 14,144,600円 (2) 個人 14,853,847円 (3) 不定期 26,398,406円	(1) 企業・団体 9,505,997円(92件) (2) 個人 9,480,839円(330件)
6 支援(事業)の概要	(1) 子どもに寄り添う給付型奨学金事業 大学や専門学校等へ進学する児童養護施設退所者等に対して、進学先の入学金及び在学中の授業料の全額を支援する。 (2) 高校生等に対する通学費負担軽減 沖縄都市モノレール株式会社の協力により、低所得世帯で沖縄県内の高等学校等に在学する高校生等の通学に係る交通費(モノレール運賃)を割引する(通常運賃の約半額)。 (3) 子ども未来ジョイントプロジェクト助成事業 構成団体がつながり協働して、子どもの貧困解消を目的に実施する以下の取組に対して、500万円を上限に、最大3年間支援を行う。	(1) 居場所づくりやこども食堂、貧困問題解決への研究やシンポジウム開催などの貧困対策に取り組んでいる団体から事業継続や事業拡大、新規事業創設に向けた事業費支援を公募し、選考後に支援金を授与。 (2) 小学校入学予定者、中学校入学予定者に対し、「入学応援給付金」として小学校3万円、中学校4万円を給付する。2017年度の定員は小学校300人、中学校350人。 (3) 事業者からの助成内容を学識経験者、法人サポーター代表から構成される運営委員会で協議の上助成対象者を決定。入学応援給付金についても運営委員会で選考・決定する。	生活困窮などに伴い、地域の中で孤独しがちな子どもたちの健やかな育ち、学びを支援し、子どもたちの安心した生活と未来を応援する民間団体の取り組みに対し、事業費の支援を実施する。 (1) 活動支援プログラム 子どもの支援・見守り支援、生活困窮世帯の居場所・援助支援、生活困窮世帯の子どもたちの進学のための学習支援、子どもの不登校・ひきこもり支援、子どもの支援にかかわるボランティア等の支援者養成するための取り組み、子どもの貧困・孤立に関する課題や取り組みを広く住民に啓発する活動 (2) 給付型応援プログラム 生活困窮世帯のファミリーサポート等利用料支援、高校生の就学奨励金支援、生活困窮世帯の緊急・一時生活支援、児童養護施設等対処児童の自立生活支援等
7 支援内容	(1) 子どもに寄り添う給付型奨学金事業 児童養護施設等退所児童27名を支援(H29年度は18名を支援決定) (2) 高校生等に対する通学費負担軽減 高校性442人を認定 (3) 子ども未来ジョイントプロジェクト助成事業 3事業の助成決定、10月から事業スタート ① 美さと児童園支援事業(KPG、コザロータリークラブ) ② 食と学びと働くを通じた対策事業(エンカレッジ、フードバンクセカンドハーベスト、沖縄県労福協) ③ 子どもの暮らし応援事業(ちゅらゆい、中小企業家同友会、日建開発)	<2017年度団体支援> (1) 第1次(4件) ① 貧困・チャイルドサポートグループワンネスの会 ② お口いっぱい食堂 ③ NPO法人こども家庭リソースセンター ④ 子ども応援団笑びん (2) 第2次(4件) ① 沖縄県“人間と性”教育研究協議会 ② 松尾二丁目自治会のびのび広場 ③ (一社)サポートセンターHOPE ④ 名護市母子寡婦福祉会 <2017年度入学応援給付金>(2018年2月に送金予定) (1) 小学校入学予定者(3万円、300人) (2) 中学校入学予定者(4万円、350人)	①NPOももやま子ども食堂 ②中の町っ子こども食堂 ③つなひき無料学習塾 ④(一社)ビクトリーチャーチ ⑤NPO法人Okinawa Hands-on ⑥Hope Love ⑦(一社)ゆいまーる教会 ⑧NPO法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい ⑨NPO法人サポートセンターゆめさき ⑩NPO法人1万人井戸端会議 ⑪沖縄市こども施策研究会 ⑫NPO法人こども家庭リソースセンター沖縄 ⑬NPO法人子どもフードバンクKFB ⑭南風原町社会福祉協議会 ⑮沖縄市社会福祉行議会 ⑯浦添市社会福祉協議会 ⑰宜野湾市社会福祉協議会 ⑱沖縄県里親会 ⑲児童養護施設なごみ ⑳児童養護施設石嶺児童園 ㉑児童養護施設瀬水学園、㉒児童養護施設島添の丘、㉓フードバンクセカンドハーベスト沖縄
8 H29年度支援額(H28年度の実績)	33,740,000円(予定) (平成28年度実績 3,512,404円)	27,030,000円(予定) (平成28年度実績 4,569,000円)	5,360,000円(予定) (平成28年度実績 8,879,000円)
9 寄付案内	ご寄付又は会員のご入会される場合、事務局にご連絡いただくか、専用HPから申込が可能です。 (1) 寄付/ご希望の金額を納付 (2) サポーター会費/会費を月毎又は一括で納付 ① 企業・団体サポーター1口月額/1万円(年間12万円) ② 個人サポーター1口月額/千円(年間1万2千円)	(1) 不定期 寄付/ご希望の金額を納付 (2) サポーター会費/会費を月毎又は一括で振込 ① 法人サポーター1口月額/1万円(年間12万円) ② 個人サポーター1口月額/千円(年間1万2千円)	ご希望の金額を専用口座への振込。または琉球新報社本社・支社局窓口で納付。
10 お問い合わせ窓口	沖縄県子ども生活福祉部子ども未来政策課 〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 Tel:098-866-2100 FAX:098-868-2402 E-mail:aa031607@pref.okinawa.lg.jp 受付時間:平日8:30~17:15(※土日祝日を除く) WEBサイト:http://www.okinawa-child-future.jp/	(1) 本社総務部 〒900-8678 那覇市久茂地2-2-2 Tel:098-860-3548 (2) 北部支社 Tel:0980-53-3611 (3) 中部支社 Tel:098-939-1122 (4) 宮古支局 Tel:0980-72-2034 (5) 八重山支局 Tel:0980-82-2104 受付時間:平日10時~17時(※土日祝日を除く) WEBサイト:http://www.okinawatimes.co.jp/	(1) 沖縄県共同募金会(平日10時~17時 ※土日祝日を除く) 〒903-0804 那覇市首里石嶺町4-373-1西棟4階 Tel:098-882-4353 (2) 本社総務局読者サービス室 〒900-8525 那覇市天久905 Tel:098-865-5311 (3) 中部支社 Tel:098-934-6500 (4) 北部支社 Tel:0980-53-3131 (5) 宮古支局 Tel:0980-72-3172 (6) 八重山支局 Tel:0980-82-3428 受付時間:平日10時~17時(※土日祝日を除く) WEBサイト:http://www.okishakyo.or.jp/kyoubo/node/137

1 設置者	公益財団法人 沖縄県労働者福祉基金協会(沖縄労福協)	一般社団法人大学コンソーシアム沖縄
2 基金又は事業名	ろうきん 働く仲間のゆめ・みらい基金	子どもの居場所学生ボランティアセンター
3 基金設置又は事業開始日	平成28年10月1日	平成28年4月14日
4 趣旨・目的	本基金は、沖縄県労働金庫が、「困難を抱える働く仲間と、その大切な人に寄り添うことは、労働運動・労金運動の原点」として、会員団体および連合沖縄をはじめとする県内の各労働団体に呼びかけ、協働で創りあげた基金であり、働く仲間のチカラを結集し、「子どもの貧困」やその根本的な問題である「親の貧困」の解決・改善に向けた自立支援に取り組むことを目的としています。	子どもの居場所学生ボランティアセンターは、貧困の状況にある子どもを支援する居場所において、沖縄県内の大学生等が自発的な意志に基づき学習支援等の活動を円滑に行えるよう、学生派遣の支援等に係る業務を行う。 このセンターは、内閣府が平成28年度から実施している「沖縄子供の貧困緊急対策事業」の一環として、内閣府が沖縄県に補助金を交付し、沖縄県が大学コンソーシアム沖縄に事業を委託して運営されています。
5 寄付総額(累計額)	18,973,830円 (1)会員団体および団体からの寄付 17,284,790円 (2)その他(個人からの寄付等) 1,689,040円	24,730,000円 (企業4団体、法人1団体、個人1人) ※ 航空チケット300万円相当含む(航空チケットは離島集中派遣の際の渡航に充てられます)。 ※ この寄附金は学生ボランティア活動への謝金に充てられます。
6 支援(事業)の概要	【支援(事業)の骨格】 (1) 養育する子がいる世帯の親等への就学、就労支援および生活支援等 養育する子がいる世帯の親や、就学と子育ての両立のための支援を必要とする就学生に対し、所要資金の給付や、物品(携帯電話・自転車・パソコン等)の貸し出しを行う。 (2) 職業資格取得等にチャレンジする就学生等への支援 職業高等学校・特別支援学校等の就学生を対象に、資格試験受験費用の給付を行う。 (3) 児童園等福祉施設退所者への自立支援 児童園等の福祉施設を退所し、社会へ羽ばたく際の公的支援が及ばない部分のサポート(新生活の準備等の支援)	(1) 県内の大学生等を対象とした学生ボランティア活動に関する啓発活動 (2) 学生ボランティア活動に関するプログラムの作成 (3) 学生ボランティア活動に関する学生の登録 (4) 学生ボランティア活動に関する学生の研修 (5) 子どもの居場所と派遣学生のマッチング (6) 子どもの居場所への学生の派遣 (7) 学生を派遣する子どもの居場所との連絡調整 (8) 学生ボランティア活動の状況確認、集計 (9) 派遣学生が所属する大学等との連絡調整 (10) その他学生ボランティア活動に関する業務
7 支援内容	(1) 養育する子がいる世帯の親等への就学・就労支援および生活支援 ・養育する子がいる世帯の生活・就労支援 ・就学と子育ての両立支援を必要とする就学生 (2) 職業資格等の取得をめざす就学生支援 ・職業高等学校・特別支援学校等の就学生の資格取得支援 支援実績:2017年度 76件(※2017年12月末時点)	市町村からの推薦を受けた県内の子どもの居場所 (推薦頂いた数:80箇所) (協定締結済居場所数:47箇所) (派遣居場所数:44箇所) (派遣学生数:104名)
8 H29年度支援額(H28年度の実績)	3,563,198円(平成30年1月現在) (平成28年度実績 2,589,208円)	-
9 寄付案内	(1) 会員団体からの寄付/ご希望の金額を納付 (2) 労働金庫の社会貢献寄付商品の利用に応じた寄付 (3) 広く個人の方からの寄付を募るため、2017年6月より(ろうきん)普通預金口座から毎月定額を基金に寄付できる定額自動寄付システムを導入。 「0150 ゆめ・みらい運動!」として、「1人一口50円(月額)の寄付で、沖縄の子ども達の夢と未来を支えよう!」をメッセージとともに、会員団体の構成員を中心に参画を求めている。	(1) 寄附/ご希望の金額を納付 ※ご寄附をお考えの企業・法人・個人のみなさまは本センターホームページから寄附申込書をダウンロードするか、下記の連絡先にご連絡くださいますようお願いいたします。
10 お問い合わせ窓口	(1) 寄付の方法に関するお問い合わせ 沖縄県労働金庫 経営統括部経営企画課 担当:内間 〒900-0029 那覇市旭町1-9 TEL:098-861-1196 受付時間:平日10時~17時(※土日祝日を除く) WEBサイト: http://okinawa-rokin.or.jp/news/5433/ (2) 基金の利用に関するお問い合わせ 公益財団法人 沖縄県労働者福祉基金協会(基金運営事務局) 〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-15-10 3階 TEL:098-865-5001 E-Mail:yumemirai@rofuku-okinawa.jp 受付時間:平日9時~17時(土日祝日を除く) WEBサイト: http://www.rofuku-okinawa.jp/	一般社団法人大学コンソーシアム沖縄 「子どもの居場所学生ボランティアセンター」事務担当 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 TEL:098-895-1939 FAX:098-895-1940 E-mail:kg-vc@consortium-okinawa.or.jp 受付時間:平日8時30分~17時(※土日祝日を除く) WEBサイト: http://www.consor-tium-okinawa.or.jp/kg-vc/

5 団体の寄付金合計額

204,715,598円

(平成29年12月31日現在)